

## 静岡県

事業所管：静岡県経済産業部産業革新局マーケティング課  
地域事務局：株式会社静岡博報堂

### ● 特産品を活用したガストロノミーツーリズムによる地域活性化

中山間地域の希少な柑橘類「ゆず」を活用し、歴史・文化・地域資源と食で人を惹きつける「ガストロノミーツーリズム」商品・サービスを開発、交流人口を増加させ、担い手確保など豊かな山林・自然の保全を図る。

LFP パートナー数

41 社・団体  
(2023.3 現在)



県内3つのブルワリーが、「川根本町ゆず」を使用した、味も仕立ても異なる3種の「YUZU BEER」を開発。

### 新たなビジネスの価値

- 開発した「YUZU BEER」をきっかけに、キャンプ場、土産物店を整備、県内からクラフトビール工房を地域に誘致することで、地域の活性化、雇用創出を図る。
- 県内食材を活用した料理と「YUZU BEER」とのマリアージュ商品（コースメニューなど）を「ふじのくに食の都づくり仕事人」等、県内飲食事業者が提案し、食を旅行目的とするコンテンツを開発する。

### プラットフォームの体制

- 地域の事業者の支援実績を多く有する広告代理店が事務局となり、多様な業種の事業者を誘致。

農業者、畜産事業者、ビール醸造所、厨房機器メーカー、不動産、まちづくり法人、農泊事業者、食品製造事業者、流通販売事業者、地元FM、地元編集者、大学などが参画。

### ビジネス創出のプロセス

- ワークショップで、川根本町が抱える地域課題（過疎化）や観光等の産業課題を共有のうえ、ゆず（農産物）・自然・地域・観光資源を再評価して、川根本町ゆずガストロノミーツーリズムの基本概念を策定した。
- 異業種マッチング交流会を企画し、県内のガストロノミーツーリズムの取り組み事例を共有し、事業者同士のマッチングの機会も設けた。

### 新しい取組・仕組みづくり

- 本県の食材活用に関する知見を多く有する料理人「ふじのくに食の都づくり仕事人」等との連携により、和・洋食・中華など幅広い視点での食のアイデア・ノウハウが提供された。
- ガストロノミーツーリズムのコンテンツのモデルケースとなり、東西に広い静岡県の他地域にノウハウの横展開が可能。



研修会では写真や事例を多く提示し、イメージが湧きやすい環境をつくり、グラフィックレコーディングも活用し、視覚的に議事内容を分かりやすくまとめた。